

発寒ひかり
保育園だより

2021年
4月号

巻頭言

コロナ禍の下での卒園式

「愛する人、大切な人、みんなの命を守り、コロナ禍の終息に力を尽くしたい」これが今の当園の保育・行事についての基本的な考え方です。卒園式も人数を抑え、簡略なものトさせていただく旨、保護者にお伝えしたところ、次の反応がありました。

「昨日は文面でのご説明ありがとうございました。 (略) 先生たちは連日会議をしてくれたり大変だったと思います。コロナで仕事量も増えているため精神面でもピークに達しているのではないかと思います。私達夫婦は、本当に卒園式を行ってもらえるだけでありがたいことだと思っています。 (略) 感謝の気持ちです。 (略) 次は、卒園式の感想です。

「卒園式、とても温かく素敵でした。自分の子が背すじをすつと伸ばしてしっかりと園長先生の話を聞いている姿に成長を感じました。 (略) 先生方、色々な意見があり大変だったと思いますが、我が家は今回の形だから安心して式に参加することができました。」「この状況の中、開催してくださったことにまず感謝致します。子どもたちの晴れ舞台を (略) 見ることができて本当に嬉しく思います。手話もハンドベルもとっても感動しました」「園長先生の卒園児に向けたお話で、『幼くして亡くなった子や戦争や貧困で学校に行けない子もいる。その子たちの分までたくさん遊んでたくさん勉強して、社会に役立つ人になって下さい』という言葉が印象に残っています。親が子に伝えるべきことは、そういうことだよなと再認識しました」

みな様の温かい励ましのお言葉に、職員一同心より感謝いたします。卒園児一人ひとりの健やかな成長をお祈りしております。

園長 吉田 行男